

ChannelPowerやACP, Multi Carrier Powerなどの機能を呼び出すことができます。

## ●SYSTEMエリアのキー

SYSTEMエリアのキーはスペクトラム・アナライザ全体のセットアップや測定データのファイル、印刷機能などに関するメニューを表示します。測定データのファイル化や印刷は測定そのものの機能ではありませんから、ここではPresetのみを説明します。

### 9 Preset

図4.3のプリセット・キーを押すことで、事前に設定された状態にスペクトラム・アナライザを設定できます。

初期値は工場出荷値ですが、よく使用する設定に変更できます。

## ●MARKERエリアのキー

図4.4のMARKERエリアのキーはマーカの表示とマーカに関する機能のメニューを表示します。

### 10 Marker

マーカを表示し、マーカに関する機能をアクティブにします。メニュー・キーは画面4.5の機能もちます。

### 11 Peak Search

マーカを画面に表示されている信号の最大値にポイントし、Peak Searchに関する機能をアクティブにします。メニュー・キーは画面4.6の機能もちます。

### 12 Freq Count

マーカを表示し、ポイント地点の周波数を表示します。メニュー・キーは画面4.7の機能もちます。

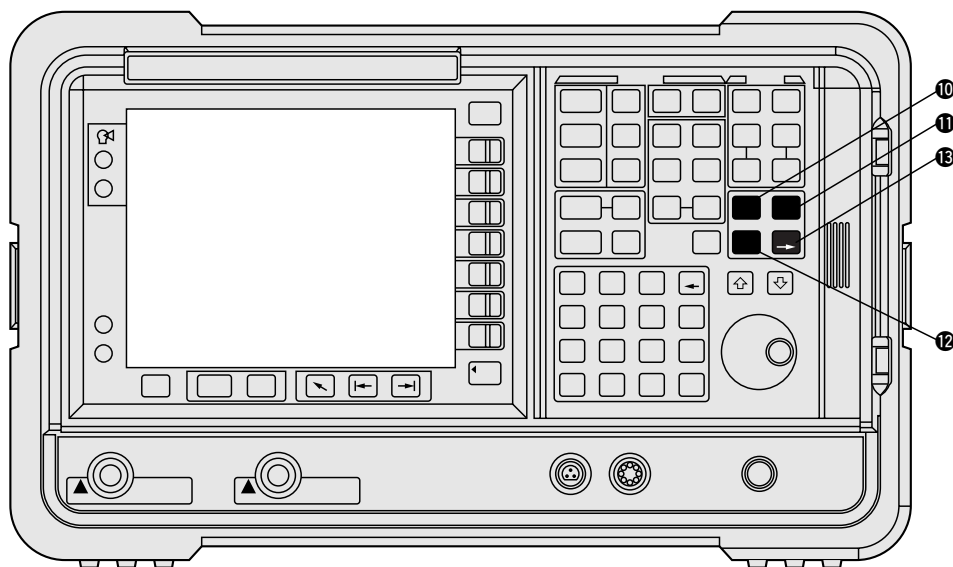


図4.4 マーカー・エリアのキー



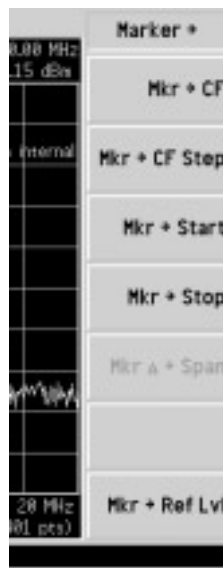
画面4.5  
機能キーがマーカ設定時のメニュー項目表示



画面4.6  
機能キーが Peak Search 設定時のメニュー項目表示



画面4.7  
機能キーがマーカ・ポイントの周波数表示設定時のメニュー項目表示



画面4.8  
機能キーがマーカ・ポイント基準にした設定時のメニュー項目表示

### ⑬ Marker →

マーカを表示し、マーカ・ポイントを基準にするための機能をアクティブにします。

ソフトキーの Mkr → CF はマーカ・ポイントの周波数をセンタ周波数に設定します。

ソフト・キーの Mkr → RefLvl はマーカ・ポイントのレベルをレファレンス・レベルに設定します。

メニュー・キーは画面4.8の機能をもちます。